

病院NOW

2018年
第81号
7月

2018年7月1日発行
(年4回発行)

より良い医療を目指して

— 進化する病院 —

理事長 榊原 敬

簡単心肺蘇生法と

AEDの使い方

(健康教室と無料出張講演のご案内)

救急部長 津島義正

突然の心停止だからこそ、簡単な蘇生法が求められます。当院では全国に先駆けて2007年4月から、人工呼吸を省いた胸骨圧迫だけの心肺蘇生講習会を開始。いまやこの方法が市民講習の基本になりました。この『簡単心肺蘇生法』の体験のために、当院では二つの無料プログラムを提供しています。

①健康教室 簡単心肺蘇生法とAEDの使い方(第1金曜14時)

外来ホールで行っており、お一人でもお気軽にご参加ください。予約は不要ですが、開催日変更の場合もありますのであらかじめホームページでご確認ください。

②出張講習会 心臓突然死の防止と簡単心肺蘇生法(AED体験実習)

ご依頼で適宜出張します。目安として、20名以上で平日としていますがご相談に応じます。医師とスタッフの2名が、人形とAEDトレーナー各2台を持参し、講演と体験実習を提供します。なお『心臓突然死の防止』は、心停止の代表疾患として『心筋梗塞』を取り上げ、気づくための症状・早期119番通報・病院選定を楽しくわかりやすくお伝えします。『ついでに』と、日頃の疑問にもお答えできるのも特徴かと思えます。どうぞお気軽にご相談ください。

平均寿命は男性80.98歳、女性87.17歳、健康寿命は男性74.14歳(岡山県71.54歳)、女性74.79歳(岡山県75.09歳)となりました。救命だけでなく治療後の合併症を防ぎ、元の生活に復帰できるか(生活の質)が問われる時代になりました。とくに65歳以上の一人暮らしは男性13%、女性21%で、高齢者だけの世帯が次第に増えています。治療後にどうしたら自立した生活ができるか(自助共助のあり方)が課題になっています。

当院で行っているMICS(minimally invasive cardiac surgery)

手術：低侵襲外科治療は、これまでのように胸骨正中切開ではなく肋間小切開で手術を行います。胸骨を切ることなく小さな術野で手術を行うため、技術的にむつかしく定期手術でしか行うことができません。胸骨が癒合するまでの数カ月余りの間、「重たいものを持たない」「自動車の運転をしない」「ゴルフをしない」といった制約がないこと、創部痛が軽く済むこと、早く元の生活に復帰できることが特長です。昨年当院では707例の胸部心臓大血管領域の手術を行い、

そのうちMICS手術は(弁膜症・虚血性心疾患など)133例でした。MICS手術は日本全国で年間約1000例(84大学医学部付属病院、国立循環器病研究センター、当院など)で行われ、全国トップレベルの先進的な手術です。

また4月より地域包括ケア病棟(リハビリ棟3階)を再開しま

リハビリを進めるためには、入院時から目標を明確にして、適切なタイミングでそれぞれの専門スタッフが介入することが大切です。

さらにかかりつけ医の先生と協力して、喫煙、高血圧、脂質異常、糖尿病、慢性腎臓病の対応(生活習慣病の改善)、さらに眼科疾患の治療や抗凝固療法下での消化管出血対策(消化管内視鏡検査・内視鏡下治療)、運動不足解消のためのメディカルフィットネスなどきめ細かな支援を受けることが大切です。

当院は地域に求められる「より良い医療」を目指して、命を守る、しっかりと元の生活に戻れるよう、チーム医療で医療安全に努めてまいります。今後とも御愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



重症心不全の治療 心臓血管外科部長 平岡有努

昨今の重症心不全に対する外科的治療は、デバイスの進化で急速な変貌を遂げています。重症心不全といってもその病態・原因疾患は様々で、それに応じた適切な治療法が選択されなければなりません。治療方針の基本は内科的治療が最大限なされていることで心不全コントロールが難しい場合、その原因を外科的に治療します。虚血性心筋症の場合、冠動脈血行再建の適応があれば、冠動脈バイパス術による完全血行再建、僧帽弁閉鎖不全などの弁膜症を合併の場合、僧帽弁治療が同時に施行されます。非虚血性心筋症の場合、僧帽弁治療など弁膜症手術が主となります。また、左室拡大が非常に高度な場合や、瘤化している時には左室形成術が有用です。

左室形成術は人工パッチを用いる方法と当院オリジナルの Endoventricular Spiral Plication というパッチを使わず左室内を螺旋状に形成する術式とがあり使い分けられます。さらに重症例では、背景に応じて植込型左室補助人工心臓・心臓移植の適応になることもあります。植込実施施設はまだ少なく、当院は植込型補助人工心臓実施施設に2018年1月認可され、当院で植込が出来ます。植込後、自宅退院が可能であることが大きな特徴ですが、2時間圏内に在住しなくてはなりません。当院は中四国地方を2時間圏内でカバーできるため、中四国在住の病



植込み型補助人工心臓 Heart Mata II

客さまに大きく貢献できます。ただ、現段階では植込型補助人工心臓は心臓移植の適応のある病客さまに限定されています。植込型補助人工心臓を最終治療とする Destination Therapy (DT) も近いうち保険適応として認可される動きがあり、さらに適応が拡大されるでしょう。

重症心不全に対する治療は、一つのちよつとした選択肢の誤りが命取りになることがあります。そのため、単一科・単一職種での治療には限界があり、包括的にあらゆる角度からのアプローチが重要で、チーム治療が望まれます。専門職が集まって一人ひとりの病態を把握し、隙のない治療を行うことが理想で、血行動態だけでなく、呼吸状態・感染所見・栄養状態・消化器状態・精神状態など、そのどれもが重要で細かく診ていく必要があります。当院では、循環器内科・心臓血管外科・内分泌内科などの医師を中心に、看護師・臨床工学師・理学療法士・臨床検査技師・薬剤師など

を含めた多職種による重症心不全チームを結成し、包括的治療提供を目指し、日々重症心不全治療に取り組んでいます。重症心不全に対する治療法は医学の進歩とともに常に変化を遂げており、当院では、心臓疾患の砦として最高の医療を提供できるように、あらゆる治療法が提供できるように施設の認定取得やチーム作りなど、全力で取り組んでいます。重症心不全は簡単に治る病態ではなく重症心不全でお困りの方がお元気になっていただけるように、これからも精進してまいります。

重症心不全に対する治療法は医学の進歩とともに常に変化を遂げており、当院では、心臓疾患の砦として最高の医療を提供できるように、あらゆる治療法が提供できるように施設の認定取得やチーム作りなど、全力で取り組んでいます。重症心不全は簡単に治る病態ではなく重症心不全でお困りの方がお元気になっていただけるように、これからも精進してまいります。

夏こそ注意！ 動脈硬化 循環器内科医長 吉田俊伸

心臓の筋肉（心筋）に酸素や栄養素を含んだ血液を供給する血管が冠動脈です。動脈硬化が徐々に進み冠動脈が狭くなってくるのが狭心症、急に詰まり心筋の壊死を起こすのが心筋梗塞です。心筋梗塞の発症は急激な気温の低下と関連があるといわれ、冬の寒い時期に多いです。しかし、夏も暑さにより汗を多くかき体内の水分不足で脱水となり冠動脈の血流が悪くなったり、血液の塊（血栓）ができやすくなり心筋梗塞を発症します。夏場に気をつける衣食住、水分補給、運動についてお話しします。

衣食住

衣服選びのポイントには外気からの熱の吸収を抑えるとともに、体の熱をスムーズに放散させる機能を持つものを選ぶことです。熱中症は熱の放散がうまくいかないために起こるので、汗を吸収しやすい素材、吸収した汗を蒸発しやすい通気性、速乾性に優れた素材が望ましいです。色については熱や日差しを吸収しにくい白や淡い色合いの衣服が良いでしょう。また通気性をよくするには体を締め付けないゆったりした衣服が良いです。

食事では暑い夏場は冷たい麺類などが好まれやすく、栄養が糖質に偏りがちですが、さまざまな栄養素をバランスよく摂取することが重要です。特に体の組織や筋肉などの材料となるタンパク質を十分摂取しましょう。ビタミンやミネラル、食物繊維が豊富な野菜や果物も食べましょう。

住空間では、レースのカテゴリーで閉め

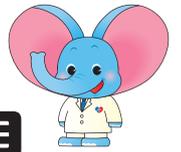
たり、窓の外に簾をかけた後、窓に遮光フィルムを貼るなど直射日光を遮ることやこまめな換気など室温が上がりにくい環境にすることが重要です。扇風機やエアコンを使った温度調整も室内環境の整備に有用ですが、室温が低すぎると外気温と室内温度の差が大きくなることによって体に負担がかかるので、室内温度を下げすぎないようにしましょう。

水分補給

汗をかいた際に水分やナトリウム（塩分）の補給が必要です。緑茶やコーヒーなどカフェインが多く含まれている飲み物は水分を排出する利尿作用があるため熱中症予防には向いていません。お茶の中でも麦茶などカフェインの含まれていないものが水分補給に向いています。また、脱水症状を起こした際に水だけを摂取すると血液中のナトリウム濃度が低下してしまうので、塩分を摂取できるスポーツ飲料は良いですが、糖分も多く含んでいるため摂りすぎには注意が必要です。水分補給の際に塩気のある飴などを一緒に摂るのは良いことです。運動や入浴など、水分を失う前後での水分の摂取が望ましいことですが、水分摂取はこまめに行うことが大切です。

運動

夏場の運動の注意点として、暑い夏の日中の運動は避けましょう。また帽子の着用が望ましいです。適正な運動にとどめ、食直後、飲酒後、入浴直後の運動は避けましょう。糖尿病、脂質異常症といった生活習慣病を治療中の方は食餌療法も合わせて行いましょう。運動の前には、ストレッチングなどの準備体操と整理体操を行いましょう。



ご意見 聞かせてください

ご意見箱 設置場所

- ・受付前 診療棟 2階
- ・デイルーム 診療棟 6階、7階
リハビリ棟 3階

沢山のご意見ありがとうございます。貴重なご意見にしながら、病客さまにより適切な病院を目ざして努力してまいります。紙面の関係でいただいた趣旨を変えない範囲で簡略化することお許しください。今後とも貴重なご意見いただきますようお願いいたします。

①「意見」 71歳になりました。いつもとてもおいしい食事をありがとうございます。もうすぐ3か月、1日たりと飽きることもなく楽しみでした。こんな美味しい病院食なんて初めてです。また入院したいくらいです。いろんなご苦労があると思いますが、とにかく美味しかったです。楽しみでした。

②「意見」 いつもありがとうございます。美味しい和食は、もうここでしか安心して食べられないので、ちらし寿司がとてうれしいです。体調で残してしまうことが多くなっていますが、とても食べやすかったです。

【お返事】 おほめのお言葉をいただきありがとうございます。この病院の給食は管理栄養士・栄養士とともに調理師、補助員が西江智章調理科長（元日本料理店料理長）、藤本純也（フランク料理）、小林諭（イタリヤ料理）を中心に高谷浩（元調理科長）も協力してつくっています。さらに、盛り付けや味の一層の向上のため、岡

山の名店のみならず京都の超一流料理店に向き勉強してくるなど研鑽を重ねています。これまで外国産食材をすべて避けていましたが、安全性の確認が出来たものから使用しています（中国産のものは問題があるようなので使っていません）。食事は治療法の一つであることから、「安全」「癒し」さらに「楽しみ」の時間となりますよう努力してまいります。ご期待ください。

①「意見」 大部屋のトイレに、アルコールの消毒液スプレーを取り付けて下さい。

【お返事】 ご指摘ありがとうございます。検討いたします。

①「意見」 ポータブルトイレを洗う時は、便器のふたを2枚とも上げて洗って下さい。便座が汚れていることがあります。

【お返事】 不快な思いをおかけし誠に申し訳ございませんでした。ご指摘いただいた点につきましては、直ちに清掃を徹底するようにいたしました。今後とも病院施設が、皆さまにご利用していただきますよう努めてまいります。

①「意見」 朝食は、朝の6時すぎが通常（もっと早い時もある）なので、8時すぎは少し遅く、排便が出ない時がある。

・デイルームは少し寒いので、もう少し暖かい方がいいようだ。
・術前と術後の人がお互いの心配を語り合うことで、心のケアにもなるのでカウンセラーのような人がいてくれると思う（各方面のスタッフの方が交互に）。

・非常にスタッフの方は多くて、私自身は安心で心強く思った。（香川県丸亀から、20日程の入院中です）

【お返事】 貴重なご意見ありがとうございます。通常の食事時間と違うことで、体調の変化や排便の不安が大きいです。お察し申し上げます。病院食は、入院時食事療養の規則や作業時間に

よって配膳時間が決められております。ご理解、ご了承お願いいたします。今後も、より良い病院食の提供ができるよう努力してまいります。また、病客さまへの心配りを怠らないようスタッフ全員で研究して参ります。

①「意見」 紙コップの自動販売機があれば良いと思いました。

【お返事】 ご意見、ありがとうございます。旧病院で紙コップの自動販売機を設置して

ましたが、転倒の原因となったり、飲み物を椅子にごぼされるなど他の病客さまからクレームがあり撤去しました。現在、再設置を予定しておりません。ご理解、ご了承のほどよろしくお願いたします。

①「意見」 6階シャワー室を何度か利用するが、入った瞬間、長い髪毛で足場がなく着替えも出来ない状態である。洗い物も同様。看護師さんに注文をつけるわけではないのですが、病客さんも悪い。片付ける道具があれば、終了時には片付けて出て行かれると思われるがどうか？

〈提案〉100均均一で、ごみ回収道具を売っているのでそれを各階に置く。

【お返事】 ご意見、ご提案ありがとうございます。毎日、シャワー室内の清掃は実施していますが、清掃が行き届かず申し訳ございませんでした。全シャワー室の点検および清掃を徹底いたします。

①「意見」 みなさん、前と比べて、フルーツが少ないいつています。

【お返事】 ご意見ありがとうございます。以前は週に2回果物を提供していましたが、昨年より毎日提供するように変更し、量を調整しました。果物の1日摂取量については治療食のガイドラインに沿って設定しております。果物の適正量についてご理解いただけますようお願いいたします。

院内短信

▽2月6日国際ロータリークラブイアン・ライズリー会長の提唱で各ロータリーアンが一本の苗木を植える運動を全世界で展開しています。岡山南ロータリークラブではこの運動に協賛し、当院では7本のカワズザクラを植樹しました。数年後には春に先駆けて咲くサクラの花見が出来るだろうと期待しています。

▽6月9日イオンモール岡山5階おかやまホールで、第8回市民公開心臓病教室を開催し、ご好評をいただきました。今後も皆様に啓発、サポートできるように努めてまいります。

▽5月28日ベストドクターズ社が各国で実施しているThe Best Doctors in Japan 2018・2019に吉鷹秀範 席副院長、坂口太一 副院長、廣畑敦内科主任部長、吉田清画像解析部長、林田晃寛内科部長が選出されました。

▽4月22日開催の岡山県医師会理事代議員会で榊原敬当法人理事長が岡山県医師会理事に選出されました。

お知らせ

▽4月1日より地域包括ケア病棟を再開しました。多職種とのチームワークを大切に安らげる病棟になるよう努め、地域・在宅での生活を視野にいたした支援を目指してまいります。

▽4月2日より毎週水曜日午後（予約制）「もの忘れ外来」を開設しました。認知症サポート医清水一紀内科部長が担当いたします。お気軽にられる方はご相談ください。

▽7月1日より消化器外科は、医長久原浩太郎が診療に当たります。

▽フルート&ピアノジョイントコンサート開催予定（7月6日）

▽岡山フィルハーモニック管弦楽団による癒しのコンサートを開催します。

▽救急フェア予定（9月9日）

音楽隊演奏、救急法体験、認知症チェックなどを予定しています。

連携医療機関紹介

ルスコクリニック

〔住所〕〒700-0064
岡山市北区大安寺南町一丁目 7-33
〔電話〕086-201-0631
〔HP〕http://hospital.dr-navip.jp/okayama/facility/1580/
〔診療科〕内科 / 循環器内科 / 心臓血管外科



〔診療表〕 ※休診日 火・水・金曜午前中 土曜 日曜 祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00 (最終受付11:30)	●	—	—	●	—	—	—
16:00~17:00 (要予約)	●	●	●	●	●	—	—

訪問診療 9:00~16:00

【高井秀明先生に伺いました】

ルスコ Ruskoとは…

ルスコクリニックは、在宅での生活を希望される方々の受け皿を更に充実していきたいと思い、平成27年4月に開設された在宅療養支援診療所です。ルスコ(Rusko)とは、フィンランド語で、夕焼けや朝焼けの空が呈する味わい深い色という意味です。わたしたちが診療する人生の『夕焼け』を迎えた高齢者の方々が、わたしたちが提供する

医療と出会い、新たな『朝』を迎えてほしい…。そんな願いをこめて、診療所をルスコクリニックと名付けました。訪問診療のエリアは、図のごとく、岡山市のほとんどもをカバーしています。

在宅医療と循環器の出会い…

「心不全パンデミック」の時代に突入し、高齢者人口の急激な増加と心不全患者の増加は今までの循環器疾患入院治療体系に変化をもたらすことが予想されます。ルスコクリニックは循環器専門医による訪問診療も行い、心不全の患者さんに対して、在宅での安定した療養生活をしていただくお手伝いをしたいと考えております。持ち運びできるエコー機器、四肢血圧検査、心電計を有し、地域のケアマネージャー、訪問看護師、介護福祉士、訪問薬剤師と密に連携して診療にあたっています。とくに榊原病院との連携では、急な入院も対応いただき、助けていただいております。定期的な病院受診を適切なタイミングで提案し、病院から在宅まで、切れ目ない医療を実践してまいります。

外来から在宅まで…

ルスコクリニックは訪問診療のみでなく、開設日は限定しておりますが、外来も取り扱っております。ルスコの医療を真心込めて提供します。当院には医療相談員が在籍しておりますのでお気軽にご相談ください。

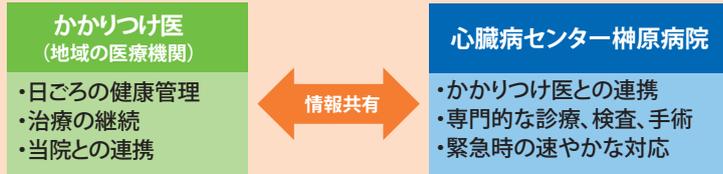


訪問診療範囲 (クリニックより自動車で30分程度)

お近くの医療機関(かかりつけ医)と当院が連携して診療

- 日ごろの健康管理をかかりつけ医、専門的な検査や入院を当院が担います。
- 当院へのご来院の際にはかかりつけ医からの紹介状をお持ちください。
- 当院での治療で病状が落ちつきましたら病客さまと相談の上 かかりつけ医と当院が連携しながら診療を続けてきます。

主治医は2人



ご覧になりましたか

榊原敬理事長が「今後は、心臓大血管の救急医療だけでなく、生活習慣病である全身の血管の病気を見られる体制をさらに整備したい。心臓大血管の救急医療を中心に、地域の方々の命を守り、安心を与える病院でありたい」と述べている。

▽山陽放送TV「夢紡いで」
(18年4月30日 23時7分~23時10分)

平成25年の当院懇談会で故吉村昭氏の講演に際しての思い出を夫人の津村節子女史が書かれている。因みに津村節子女史は芥川賞を受賞されており、文化功労者でもある。

▽明日への一歩 津村節子著
河出書房新社刊 (18年4月30日発行)

また、当院では、全病客の7%が香川県からで、四国全体では約1割を占めている。医師が同乗して医療処置をする病院自前のドクターカーも岡山県外の出勤先の8割は香川県となっていることを紹介している。

また、当院では、全病客の7%が香川県からで、四国全体では約1割を占めている。医師が同乗して医療処置をする病院自前のドクターカーも岡山県外の出勤先の8割は香川県となっていることを紹介している。

▽山陽新聞 (18年3月19日発行)

瀬戸大橋が開通して30年。香川県より瀬戸大橋を渡って当院で心臓手術を受けられた病客さまを紹介している。岡山での手術を迷っていたが決断したのは、ご長女さまの「私の周りにも、身内が榊原で手術したという人が何人もいる。専門病院の方が良いのでは」という助言と岡山は遠い所と思っていたが瀬戸大橋により来院時間がさほどかからないことだったという。